

6 成果

- ・ 市町村の林業担当部署のほか、教育委員会等に訪問して事業の趣旨・制度の説明等、事業の普及に努めた結果、県内全市町村(35市町村・487事業)で取り組まれました。
- ・ 里山・平地林整備において、森林や竹林整備を実施し、野生獣の出没抑制、生活道路や通学路の見通しの確保等や、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られました。
- ・ 森林環境教育については、年々参加者が増加し、約17,500人の参加となり、より多くの県民に森林の大切さや役割を伝えられ、森林環境に対する意識の向上が図られました。
- ・ 自然環境の保護・保全については、刈り払い等の環境整備を行うことにより、動物14種、植物28種の希少種の保護が図られました。

7 課題・方向性

- ・ 荒廃した里山平地林の整備の困難地整備支援については、地元による管理への負担感から、協定を締結できず、廃止となった事業があります。また、今後は高齢化により管理体制が維持できなくなることも想定されるので、市町村と協力しながら地域の取組を有益に活用できる体制づくりを推進します。
- ・ 年度内に事業が完了せず、繰越が生じているため、事前着手届を活用するよう周知を図ります。
- ・ 県内全市町村が事業を活用してもらうため、引き続き事業の普及を図ります。

8 実施状況の評価（評価者：県）

- ・ 平成26年度は、事業内容等の周知は図っていたものの、29市町村、117事業の採択となりましたが、引き続き事業の普及に努めた結果、平成28年度は県内全市町村、266事業で採択となり、事業の推進が図られました。
- ・ 事業の効果についての市町村アンケートでは、竹林等の里山を整備したことにより、「野生鳥獣の出没が抑制された」や「生活道路等の見通しが確保されたことで地域住民の安全・安心な生活環境の改善が図られた」など地域においても評価を受けており、期待された効果が得られました。

9 評価検証委員会の意見

1 概要

● 普及啓発

ぐんま緑の県民税への理解を深めるため、税のしくみ、森林の役割や大切さの普及啓発活動を実施します。

● 評価検証

事業の内容検討・実績評価・効果検証などを行う「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」を運営します。

事業の客観的な効果検証を行うために必要な県の林業試験場による調査・分析を実施します。

2 実施状況

【平成26～28年度の実績】

42,755千円

○普及啓発

【平成26～28年度の実績】

4,884千円

- ・「ぐんま緑の県民税」のポスター及びリーフレットの作成
- ・子供向けパンフレット「ぐんま緑の県民税 ぐんまの森林・林業」の作成
- ・広報媒体を利用した普及啓発(県HP、FMぐんま等)
- ・本事業による整備箇所を見学するバスツアーの実施(計8回・310人)
「ぐんまの森林をトレッキング！ 歩こう、登ろう！ ぐんまの森林ツアー」
- ・市町村への普及啓発活動

パンフレット



子供向けパンフレット



バスツアー



○評価検証（評価検証委員会の運営）

【平成26～28年度の実績】

1, 412千円

・ 評価検証委員会の開催

平成26年度	1回目:平成26年 6月23日	…県庁29階	第一特別会議室	10:00～12:00
	2回目:平成26年11月10日	…県庁 7階	審議会室	13:30～15:30
	3回目:平成27年 3月17日	…県庁29階	第一特別会議室	9:30～12:00
平成27年度	1回目:平成27年 8月17日	…県庁29階	第一特別会議室	9:30～11:30
	2回目:平成27年12月14日	…県庁 7階	審議会室	14:00～16:00
	3回目:平成28年 3月18日	…県庁29階	第一特別会議室	10:00～12:00
平成28年度	1回目:平成28年 9月 5日	…県庁29階	第一特別会議室	10:00～11:30
	2回目:平成29年 3月21日	…県庁 7階	審議会室	10:00～11:30



○評価検証（調査分析）

【平成26～28年度の実績】

2, 880千円

- ・ 水源地域等の森林整備事業地を対象に間伐の実施による事業効果の判定
- ・ 県内20箇所に設定した調査対象地の追跡調査を実施
(相対照度測定・植生調査・植被率調査)



調査地の内訳

調査項目	通常区	特定調査区
毎木調査		○
照度	○	○
植被率	○	○
植生乾燥重		○
土壌断面		○
植生調査	○	○



林内



対照地

相対照度の測定の様子



植生調査



植被率調査

3 成果

○普及啓発

・ ぐんま緑の県民基金を広く普及啓発するため、ポスターやリーフレットの作成、小学生を対象とした子供向けパンフレットの作成、各種メディア媒体を活用した広報活動の実施、また、県民税を使った森林整備箇所を見学するバスツアーを実施し、ぐんま緑の県民税の趣旨や事業内容などの理解の促進を図りました。

○評価検証（評価検証委員会の運営）

・ 計8回の評価検証委員会を開催し、森林・竹林の全伐支援などの事業メニューの設立、事業の採択などを行い、議事の内容や審議結果を公表しました。

○評価検証（調査分析）

・ 20箇所の水源地域等の森林整備事業地を対象とし、間伐実施後の森林の状況を調査し、調査分析に必要な情報の収集を実施しました。

4 課題・方向性

○普及啓発

・ 県民が事業の成果やその効果について理解を深めるために、引き続き、広報誌や各種メディア媒体を活用し効果的な広報活動に努めます。

○評価検証（評価検証委員会の運営）

・ 事業の検証や評価、助言を通して、明らかになった課題の解決に努めます。

○評価検証（調査分析）

・ 間伐実施後の調査地のデータを確実に収集し、適切な調査分析を実施します。

5 実施状況の評価（評価者：県）

・ 制定から3年が経過し、1次募集で平成29年度予算全てが採択されていることから、県民の理解は進んでいると考えられます。

・ これまでの制度運営に関する取組内容は適正に実施されており、概ね期待された成果が得られました。

6 評価検証委員会の意見

V ぐんま緑の県民税評価検証委員名簿

(五十音順 敬称略)

氏名	職業・役職等	参考	備考
内山 はるの	森林所有者	森林・林業関係者	
金井田 好勇	館林市副市長	平地林代表市町村 (～H28.4.21)	
小山 定男	館林市副市長	平地林代表市町村 (H28.4.22～)	
金子 裕昭	連合群馬事務局長	納税者(労働団体)	
鬼頭 春二	みなかみ町副町長	山地代表市町村 (H27.2.19～)	
清水 紀美子	群馬県生活協同組合連合会 女性協議会会長	納税者(消費者団体) (～H26.7.21)	
高橋 淳子	桐生大学短期大学部 生活科学科教授	学識経験者 (環境教育)	
田村 辰夫	森林所有者	森林・林業関係者	
西岡 喬	太田商工会議所副会頭	納税者(経済団体)	
西野 寿章	高崎経済大学地域政策学部 観光政策学科教授	学識経験者 (森林環境保全)	委員長
松本 勉枝	群馬県生活協同組合連合会 女性協議会会長	納税者(消費者団体) (H26.7.22～)	
荻原 重夫	片品村副村長	山地代表市町村 (～H26.7.19)	
宮地 由高	群馬NPO協議会相談役	学識経験者 (NPO・ボランティア活動)	委員長代理

※任期は平成25年7月30日から平成27年3月31日及び平成27年4月1日から平成29年3月31日までの2期



ぐんま緑の県民基金事業 平成26～28年度 中間評価検証報告書

○ この実施報告書に関するお問い合わせ先

群馬県環境森林部 林政課 林政推進係
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1
Tel: 027-226-3278 Fax: 027-223-0154
E-mail: rinseika@pref.gunma.lg.jp

○ ぐんま緑の県民税ホームページ

<http://www.pref.gunma.jp/04/e3000101.html>